



第9回 「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」 企業研修のご案内

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」は、ダイバーシティ（多様性の尊重）の考え方のもと、多様な参加者とともに行われる2泊3日のキャンプイベントです。障がいをもった方、様々な年齢の方、異なる価値観・社会的背景をもった方——多様性に満ちた参加者との交流・共同体験を通じて、今企業に必要とされるダイバーシティの視点と、多様な人材の力を引き出すリーダーシップのあり方を学ぶ、参加・体験・実践型研修です。

- なぜ今ダイバーシティなのか？
- 「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」の特長
- 対象
- 研修概要
- 研修プログラム
- 参加者・派遣責任者の声



なぜ今ダイバーシティなのか？

ダイバーシティは重要な経営課題

少子高齢化、グローバル化、価値観の多様化といった社会変化の中、女性や外国人、障がい者、シニア層など多様な社員の力をどう活かすかが企業の成長を左右します。

ダイバーシティは経営戦略の一環として取り組むべき課題です。

ダイバーシティは競争力につながる

いま、市場のニーズはかつてないほど多様化しています。ニーズを捉えた商品・サービスを生み出すには、多様な人材の知恵と経験を活かすことが重要です。ダイバーシティは組織の創造性を高め、競争力の源泉になるものです。

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」の特長

一般的なダイバーシティに関する研修は、理論の学習や、似た属性の参加者どうしでのコミュニケーションに終始しがちです。これに対しユニバーサルキャンプには次のような特長があります。

参加者の多様性

ユニバーサルキャンプには毎年総勢100名以上の多様な人々が参加します。ダイバーシティを学ぶうえで絶好の環境といえます。

障がい者からの学び

ユニバーサルキャンプには、様々な障がいを持った方も多いです。普段接することが少ない障がい者と交流することで、ダイバーシティに関する多くの気づきを得られます。

“超”実践型コミュニケーション

キャンプという形で寝食をともにする中で、「聞いて帰る」だけの研修では得られない深いコミュニケーションが行われます。多様性の中で実際に「行動する」機会が確かな成長を促します。

対象

- 多様な人材の力を引き出して成果を高めたい経営者、管理職・幹部社員、次世代リーダー
- 自社のダイバーシティを推進したいCSR担当者、人事・採用・教育担当者
- 顧客のニーズを捉えた商品・サービスを生み出したい、ユニバーサルデザインの考え方を身につけたい商品開発担当、サービス部門スタッフ、デザイナーなど
- その他ダイバーシティの視点を身につけたい全ての方

研修概要

研修日程・場所

事前研修

2013年9月4日（水）

・9:00～18:00（予定）

・国立オリンピック記念青少年総合センター

※事前研修だけを単独で受講することも可能です。
（「ダイバーシティ・コミュニケーション研修」）

キャンプ研修

2013年9月21日（土）～23日（月・祝）

・八丈島

※キャンプ中止の場合は10月5日（土）代替研修
(於：東京マスダ学院)

事後研修

2013年10月15日（火）

・9:30～17:00（予定）

・国立オリンピック記念青少年総合センター

研修費用

1名 150,000円（税込）

※キャンプ研修の往復航空運賃、食費・宿泊費込み

◆過去の研修参加企業

(株)アイエスエフネット、岩渕薬品(株)、(有)エイ・エル・ピー、NTTクラルティ(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、(株)岡村製作所、コクヨ(株)、三友プラントサービス(株)、(株)スリーライト、(株)ゼネラルパートナーズ、ソニー(株)、(株)デンソー、東京地下鉄(株)、日産自動車(株)、(株)日本能率協会マネジメントセンター、(株)乃村工藝社、パナソニック電工(株)、東日本トランスポーテック(株)、富士通(株)、富士通デザイン(株)、松下電器産業(株)、三菱電機(株)、(株)リバック、早稻田システム開発(株)

研修プログラム

「学習」「行動」「内省」のサイクルで継続的な実践へ
ユニバーサルキャンプは、事前研修、キャンプ研修、事後研修を通して「学習」「行動」「内省」という学びの成長サイクルを回します。特に内省のプロセスを重視し、気づきを促す機会を十分に用意しています。「その場限り」になりがちな研修での学びを、継続的な実践に昇華します。



<事前研修>

ダイバーシティについての理解を深めるとともに、多様な人材の力を活かすリーダーの方を学びます。また、障がいをもちながら企業で働く講師との対話により、多様な働き方への気づきを得ます。キャンプ研修での学びをより充実させるための準備プロセスもあります。

【講 義】

- ダイバーシティの理解と受容
- 支援型リーダーシップ研修



【実 習】

- コミュニケーション実習『ルーム・オブ・ダイバーシティ』

【グループワーク】

- 気づきの共有、ディスカッション（気づきをどう活かすか）

<キャンプ研修>

八丈島での2泊3日のキャンププログラムで、事前研修で学んだことを実践する機会となります。多様な参加者と様々なプログラムと共に体験し、またグループ活動ではリーダー役となりグループをまとめていきます。キャンプ中も振り返りの機会を何度も設け、学び、実践、振り返りの成長サイクルを高速で回す濃密な3日間です。



<事後研修>

事前研修、キャンプ研修を通じて得た「気づき」を出し合い、他者の視点を共有することで学びを深めます。また研修の集大成として、今後の実践を意識しながらダイバーシティの視点で商品・サービス、組織・制度、施設、イベントなどを企画するプランニング実習を行います。

【グループワーク】

- 「気づき」の共有



【ワークショップ】

- プランニング実習

参加者・派遣責任者の声



参加者
高野 一樹さん

株式会社 富士通デザイン
ソリューション・デザイン事業部（参加当時）
ソフト・サービスシステムのGUIデザイン、ソリューション
提案などを担当。



派遣責任者
葛谷 邦夫さん

富士通株式会社
統合マーケティング本部 総合デザインセンター
シニアエキスパート（ユニバーサルデザイン担当）

Q. 研修を通じて得たものは？ またそれをどう活かしていますか？

企業研修の参加者は、班行動が基本となるキャンプ生活の中で、メンバーの力を引き出し、自発的な行動を促す支援型リーダーとしての役割を担います。コミュニケーションを重ねてメンバーの個性を知ることから始まり、お互いに個性を尊重し、助け合い、一緒に活動できる環境をリーダーとして支えました。その結果、一人一人が自ら行動を起こし、気づきを得ることができ、キャンプ生活が価値のある貴重な経験になったと感じています。今、デザイナーには、目に見える部分のデザインだけではなく、チームとしてプロジェクトを円滑に進めるための力も求められています。視覚的な情報共有や、ビジョンの可視化、業種・職種を超えたコラボレーションの促進といった、まさにプロジェクトチームにおける支援型リーダーの役割を担っていく必要があります。そのような機会において、キャンプでの経験や学びを活かし、自ら率先して実践していきたいと思っています。

企業プロフィール
株式会社富士通デザイン
設立 2007年。富士通の製品・サービスやお客様の課題解決に
関わるデザイン全般を行なう。

Q. 自社における当研修の位置づけは？また導入の理由は？

ヒューマン・センタード・デザインを基本ポリシーとする弊社において、新人デザイナーの必修プログラムの一つとしてこのプログラムを位置づけています。デザイナーにとってこのプログラムは2つの意味があります。ひとつはユニバーサルデザイン商品・サービスを開発する上での多様なユーザーの理解に役立つことです。そしてもうひとつさらに重要なことは、自らのワークスタイルとして、多様な仲間とともに働くマインドづくりとなることです。このプログラムを新人デザイナーの教育に取り入れたきっかけとしては、私自身も参加してみて、ダイバーシティを頭で理解するのではなく、実際の事前研修やキャンプ生活を通して実感を伴った大変貴重な体験を得られたことでした。表面的なUDの知識やスキルを提供しているプログラムはこの他にもありますが、長い目で見て、もう少し深い部分でのマインドづくりを目指されているこのプログラムに大変期待しています。



参加者
吉井 ちよさん

株式会社丹青社
ストアエンジニアリング事業部 第2PM統括部 PM2部 推進2課（参加当時）
営業職として多店舗展開する飲食店の内装設計・施工を担当。



派遣責任者
森下 是さん

株式会社丹青社
ストアエンジニアリング事業部 第2PM統括部 統括部長

Q. 研修を通じて得たものは？ またそれをどう活かしていますか？

ユニバーサルキャンプを通じて大きく2つのものを得ることができました。1つはダイバーシティの視点です。建設・内装業界では女性はまだ少数派で、女性であることをネガティブに捉える場面もあるため、女性のポジションに不安も持っていました。しかし、ユニバーサルキャンプで様々なバックグラウンドや特性を持った方々と交流する中で、周りとの違いをそれぞれの個性としてポジティブに考えられるようになりました。多様な他者を受け入れるには、まず自分を受け入れることが必要であり、その意味でダイバーシティの第一歩を踏み出せたかなと思います。今後はこの姿勢を、部門・会社・業界へと浸透させるような働きかけをしていきたいと思っています。

2つめはリーダーシップです。キャンプ研修では、班長・副班長としてリーダーの役割を担うことになります。キャンプ生活の中で多様な班員をまとめリードした経験は、少なからず私のリーダー観を変えました。私はあるプロジェクトのリーダーを担っていますが、以前はリーダーとしてどう振舞えばよいか分からず右往左往していました。今は、実践を通じて学んだ支援型リーダーシップで、プロジェクトを以前よりスムーズに推進することができており、キャンプでの経験が業務にも活かされていると感じます。

八丈島という恵まれた環境下でのキャンプ生活は気づきの連続でした。

日常生活に戻った今も、以前とは違った世界が見えるようになっています。

Q. 部下にどのような成長を期待して派遣を決められましたか？

私は普段様々な店舗の空間づくりに携わっていますが、社会が大きく変わる中で、新しい発想での空間づくりにも挑戦していく必要があると日々考えています。多くの人が集う空間の提案には、ダイバーシティやユニバーサルデザインの視点が重要になります。ユニバーサルキャンプはこうした視点を実体験を通じて身につくられる絶好の機会と捉え、吉井の派遣を決めました。吉井には自らが学ぶことはもちろん、学びを組織に持ち帰り、ダイバーシティとユニバーサルデザインの伝道師となることも期待していました。また、当業界では女性はまだ少数派ですが、女性が活躍することで組織に新たな活力をもたらしてほしいとも考えていました。実際、彼女はキャンプから貴重な体験や気づきを社内に持ち帰り、具体的な行動や情報発信を通して、様々な場面で変革のリーダーとして活躍してくれています。

企業プロフィール
株式会社丹青社
設立 1959年。「空間づくりのプロフェッショナル」として、商業空間や文化空間、イベント空間等々の企画、デザイン・設計、制作・施工、運営等を行う。

■お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人（NPO）ユニバーサルイベント協会
東京都港区港南2丁目12番27号イケダヤ品川ビル3F（株）UDジャパン内
TEL 03-5460-8858 FAX 03-5460-0240
E-mail info@u-event.jp

NPOユニバーサルイベント協会は、参加する誰もが困難なく快適に参加でき、充実したコミュニケーションが実現できるイベントづくりを目指し、各種イベントの運営・サポート活動などを行っています。